

## 国際調查報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 F1030747W000	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(PCI/ISA/220) 及び下記5を参照すること。				
国際出願番号 PCT/JP03/16835	国際出願日 (日.月.年) 25.12.	2003	優先日 (日.月.年)	26.12.	2002
出願人 (氏名又は名称)	三洋電機株式会社				·
国際調査機関が作成したこの国際調 この写しは国際事務局にも送付され		(PCT185	条)の規定に従い	・出願人に送付す	⁻a.
この国際調査報告は、全部で3	ページである。				-
□ この調査報告に引用された先行	技術文献の写しも添付され	ている。		·	
	された国際出願の翻訳文に基	らづき国際調査	を行った。		
b. この国際出願は、ヌクレオチ □ この国際出願に含まれる	ド又はアミノ酸配列を含ん 彗面による配列表	でおり、次の	配列表に基づき国	国際調査を行った	÷-0
□この国際出願と共に提出る	された磁気ディスクによる酢				
, —	機関に提出された書面による		'd <del>-12</del>		
出願後に提出した書面に、 書の提出があった。	機関に提出された磁気ディスよる配列表が出願時における	5国際出願の閉	<b>引示の範囲を超え</b>		
	した配列と磁気ディスクに。				
2. 間 請求の範囲の一部の調査	Eができない(第I欄参照)	•			
3. ② 発明の単一性が欠如して	いる(第Ⅱ欄参照)。				
4. 発明の名称は 🗓 🗓	<b>出願人が提出したものを承認</b>	<b>まする。</b>			
	たに示すように国際調査機関	が作成した。			
10. 3/1/16	出願人が提出したものを承認				
	育Ⅲ欄に示されているように 国際調査機関が作成した。出 の国際調査機関に意見を提出	出願人は、この	)国際調査報告の	規則38.2(b))の 発送の日から1	O規定により カ月以内にこ
6. 要約書とともに公表される図6 第 <u>1</u> 図とする。 X 1	は、 出願人が示したとおりである	<b>5.</b>		なし	
	出願人は図を示さなかった。			•	
	本図は発明の特徴を一層より	く表している。 ————			



Λ. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))		
Int. Cl' G09G3/34, G09G3/36, G02F1/13, G02F1/133	G09G3/20, G03B21/0	0,
B. 調査を行った分野		
調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))		
Int. C1' G09G3/00-3/38, G03B2 G02F1/13, G02F1/133	1/00,	
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1926-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2004年 日本国登録実用新案公報 1994-2004年 日本国実用新案登録公報 1996-2004年		ì
国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、課	間査に使用した用語)	
:		
C. 関連すると認められる文献		関連する
引用文献の カテゴリー* 引用文献名 及び一部の箇所が関連すると	きは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号
Y JP 2000-214827 A (東レ株式会社) 200		1-8
【請求項1】,【請求項2】,【0010】	- [0019] ,	
【図1】-【図5】 (ファミリーなし)		
Y EP 0888016 A1 (Hewlett-Packard Com 第3欄第38行-第51行, Figure.1, Figur & JP 11-231278 A & US 5971545 A1 & CN 1224169 A & SG 69268 A1 & KR & DE 69808184 E	e. 2 & CA 2228873 A1	1-6, 8
		川紙を参照。
区 C欄の続きにも文献が列挙されている。		
* 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献 (理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	の日の後に公表された文献 「T」国際出願日又は優先日後に公表 出願と矛盾するものではなく、 の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、 の新規性又は進歩性がないと考 「Y」特に関連のある文献であっとさ、 上の文献との、当業者にとった よって進歩性がないと考えられ 「&」同一パテントファミリー	発明の原理又は理論 当該文献のみで発明 えられるもの 当該文献と他の1以 自明である組合せに
国際調査を完了した日 12.03.2004	国際調査報告の発送日 30.3	. 2004
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP)	特許庁審査官(権限のある職員) 後藤 売治	2G 9610
日本国特計庁(ISA/JF) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-110	1 内線 3225

·	国际侧上			
(続き).	関連すると認められる			関連する
用文献の テゴリー*	引用文献名。及	請求の範囲の番号		
Y	JP 2002-278505	2		
	ļ -	】,【図5】(ファミリ		·
	EP 1003062 A1 (	7		
Y	[0069]-[0080], F [0124]-[0128], F	6		
Y	& JP 2000-5641			
	& KR 01/22667			
Y	TP 2000-221499	A (ソニー株式会社) 20	00. 08. 11	7
.2	[0045] - [0048	·		
Y	HS 2002/0154277	Al (Hiroshi Mukawa, E	T. AL) 2002. 10. 24	7
I.	[0035] FIG. 1			
·	& JP 2002-2966	880 A & US 6561654 B2	& KR U2/11819 A	
Y	JP 2001-42431 A	(日東光学株式会社)	2001. 02. 16	8
	【0047】,【図1	【】 (ファミリーなし)	· · · • · ·	
		·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
			·	
	•		•	
		·.	ı	
		•		
			:	
		•		
			٠.	
			• •	